’99　ジムカーナグランプリ　最終戦

京都 GP　開催レポート

今、人気のモータースポーツ・ジムカーナで、全国各地を転戦しながらポイントを争う『 ジムカーナグランプリ・最終戦 』が、去る １１月２８日に京都で開催されました。

このGRA企画のイベントは、全国を転戦しながらシリーズポイントを競うジムカーナの大会です。全国でジムカーナの楽しさを広めると同時に、参加者全員で一緒になって運営を進めるため、見知らぬ各地のオートバイ仲間の交流を深められやすく、とても人気のあるシリーズ戦です。

今回の『京都GP』には、シリーズ最終戦で年間チャンピオンが決定するとあって、北は青森から西は九州までの全国各地から、シリーズ中最多の127名の参加申し込みがあり、光電管による最高速度の発表や区間タイム、そしてゴールタイムの発表に、ギャラリーと一緒になって全員が拍手や歓声を上げたのでした。

当日発表されたタイムトライアルコースも、パイロンセクションや長いストレートコース、そして回転やフリーターンなどがうまく組み合わせてあり、ビッグバイクからミニバイクまで、排気量に関係無く上位に入れるチャンスがあるレイアウトになっていた。これも、レースとは違うジムカーナだけの特徴だろう。

また、今回の『京都GP』では、史上初の電気バイクによるジムカーナも開催されて、参加台数は少なかったものの、いずれ来る未来のバイクの姿を見せてくれていた。

２ヒートのタイムトライアルも終わり、当日の成績発表とシリーズポイントランキングの発表があると、喜びの声をあげる者や悔し涙を流す者まであり、参加者が年間ランキングに掛けた情熱の大きさが表れた表彰式となった。ちなみに、シリーズ最多のポイント獲得者には、翌年の『沖縄GP』への優待招待される。このジムカーナグランプリでは、例え上位の成績を残せなくても、頑張って練習をして少しでも速くなるほどにポイントが与えられるので、誰でも努力すればチャンピオンになれる夢を持って参加できるのだ。

さあ、君も来年は参加して、沖縄へ行こう！

「京都ＧＰ　各クラス別入賞者」

Ａクラス	１位	向来_佐知子	ブロスＰ１	1’27″916
	２位	山本_征夫	ウルフ200	1’31″634
	３位	市成_恵	ウルフ250	1’41″471
Ｂクラス	１位	重松_明秀	CRM250	1’36″680
	２位	歌代_薫	ホーネット600	1’44″789
	３位	山下_真人	バルカン1500	1’46″334
Ｃクラス	１位	西尾_充	バンディット250	1’31″650
	２位	谷村_圭宏	TDM850	1’32″547
	３位	平松_雅弘	ジェイド250	1’35″677
Ｄクラス	１位	森田_雅人	XJR1200	1’22″362
	２位	谷口_良司	KSR２	1’25″645
	３位	原田_桂吾	ブロスP2	1’26″069
Ｅクラス	１位	長谷阪_昇次	KSR２	1’19″923
	２位	小林_裕之	ブロスＰ１	1’20″565
	３位	吉岡_輝顕	KSR２	1’21″064

ジムカーナ文化を創造する
GRA Gymkhana Riders Association